

通級指導教室だより 7月号

# 青空 (あおぞら)

\*いつも心に青空をという願いを込めています。

新潟県立長岡聾学校通級指導教室  
〒940-0093 長岡市水道町 2-1-13  
TEL 0258-38-0191 (教務室)  
FAX 0258-39-5665  
e-mail  
[school@nagaokarou.nein.ed.jp](mailto:school@nagaokarou.nein.ed.jp)  
発行：平成30年7月 文責 田村信江

## スムーズなコミュニケーションのために

長岡聾学校を卒業した生徒は、就職、進学等、それぞれの希望に合わせて進路を選択しています。新しい環境に順応して、頑張ることができている人もいますが、ちょっと人間関係等に疲れている人からは、職場や進学先で「孤独」を感じているという声がちらほら聞こえてきています。



聴覚障害は見ただけでは分かりにくい障害です。また、聴覚障害はコミュニケーション障害であるとも言われます。コミュニケーションは人間関係を築く上で、非常に重要ですが、これがまた、きこえ方によって千差万別。手話、筆談、口話、聴覚活用等さまざまな方法を、話す相手や場面によって複数の手段を組み合わせたり使い分けたりしています。

しかし、だれもが音声言語が当たり前だと思われている環境の中では、聴覚障害者は、周囲に合わせて、音声でのコミュニケーションを求められることがありがちです。周りの雰囲気に合わせて、分かったふりをせざるを得ない時もあるでしょう。一人一人、聞こえ方も、コミュニケーション方法も今までの経験も異なっていることから、まずは聴覚障害者本人から、その置かれている状況を聞くことが大切です。また、聴覚障害者も、自分の状況や配慮してもらいたいことを積極的に伝えていく心構えが欠かせません。通級指導教室でも「伝えることの大切さ」を指導してまいります。

## 聴覚に障害がある人とのコミュニケーションのポイント

- ・音声だけで話すことはできるだけ避け、視覚的な情報を併用する。
- ・複数の人がいる場では、話す前に手を挙げるなどして場所を示してから話すようにする。
- ・極端に早口になり過ぎないようにする。
- ・文節で区切りながら、はっきり、ゆっくりと話す。(ただし、あまり速度を落としすぎると、かえって分かりづらくなるので、不自然にならない程度で。)
- ・同時に複数の人が話さないようにする。
- ・できるだけ向かい合った状態で、アイコンタクトをとり、相手が自分の顔を見ているか確認してから話し(書き)始める。
- ・資料やマイクなどで顔が隠れないようにする。



## 夏のきこえの相談会 7 / 24 ~ 8 / 2



上越・中越地方の小・中・特別支援学校の児童生徒を対象に、今年度も「夏のきこえの相談会」を実施します。通級生は対象ではありませんが、今現在57人の申し込みがあり、そのニーズの高さに驚かされています。特に今まで聾学校に相談に来たことがないという新規の相談が多く、日常的に様々な困り感をもちながら過ごしてきた可能性があります。

聴覚障害だけに限ったことではありませんが、何か困難を感じたときには、身のまわりの人と相談できる環境がとても大切だと改めて感じています。

## 9 月 の 予 定

日・曜日		通級指導及び相談の予定	あなたの通級時刻
3	月	本校会場通級	
4	火	本校会場通級	
5	水	本校会場通級	
6	木	本校会場通級	
7	金	サテライト魚沼	
10	月	本校会場通級	
11	火	本校会場通級	
12	水	本校会場通級	
13	木	本校会場通級	
14	金	本校会場通級	
18	火	本校会場通級	
19	水	本校会場通級	
20	木	本校会場通級	
21	金	本校会場通級	
25	火	本校会場通級	
26	水	本校会場通級	
27	木	本校会場通級	
28	金	本校会場通級	